

令和6年能登半島地震にかかる 日本赤十字社の対応等について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社広島県支部

1 災害の概要

(1) 概要[気象庁情報: 3月4日8時00分 現在]

- ・発生日時: 令和6年1月1日16時10分
- ・最大震度: 震度7(石川県志賀町、輪島市) ・マグニチュード: 7.6
- ・震源地等: 石川県能登地方(輪島の東北東30km付近) 深さ 16km
- ・1日16時以降、震度5強以上を観測した地震が11回発生。
- ・1日に大津波警報、津波警報が発令され、2日にすべての警報が解除。

(2) 災害救助法等の適用[内閣府(防災担当)情報: 1月11日 現在]

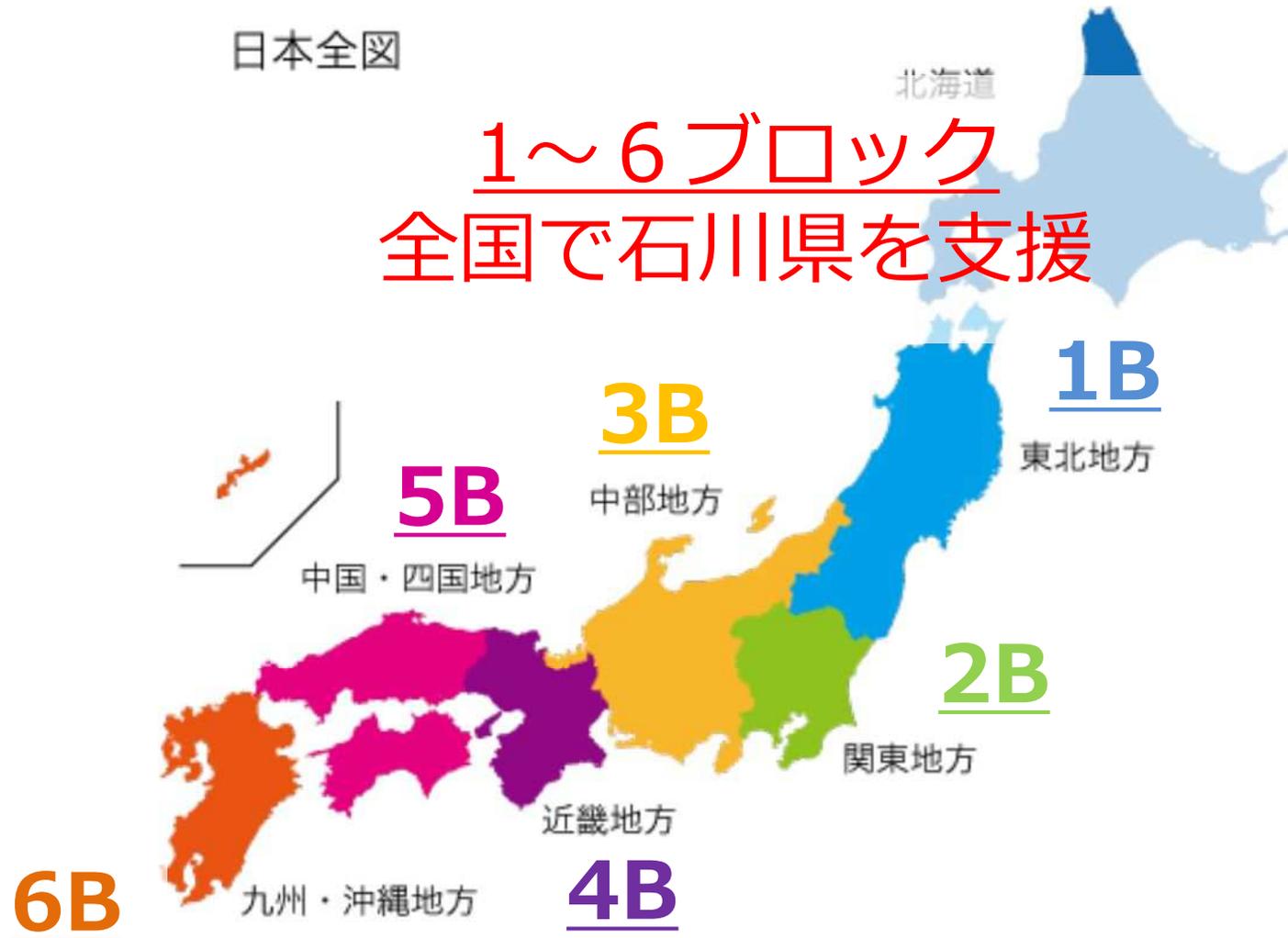
- ・新潟県、富山県、石川県及び福井県35市11町1村に災害救助法が適用。
- ・激甚災害に指定。
- ・特定非常災害に指定。



救護班等の派遣状況（1/2～3/12現在）

日本全図

1～6ブロック
全国で石川県を支援



2 日本赤十字社の主な活動状況

(1) 活動概況 [3月12日10時00分 現在]

職員派遣



救護班(DMAT含む)
延べ**343班**を派遣



日赤災害医療
コーディネートチーム
延べ**119チーム**を派遣



こころのケア班(調整班除く)
延べ**24班**を派遣



支部支援要員
68人を派遣

ボランティアの活動



赤十字ボランティア
延べ**1,673人**が活動

救援物資の配布



毛布 **16,005枚**



安眠セット **5,230セット**



緊急セット **2,224セット**



その他
携帯型簡易トイレ3,400個 等

日本赤十字社広島県支部の対応



医療救護班について

災害時の救護活動は
赤十字の大きな使命です。

万が一の災害発生に備え、医師、
看護師などを中心とした救護班を
編成し、災害発生時には全国の赤十
字病院から救護班を被災地に緊急派
遣するなど、迅速な救護活動を展開
できる体制を整えています。

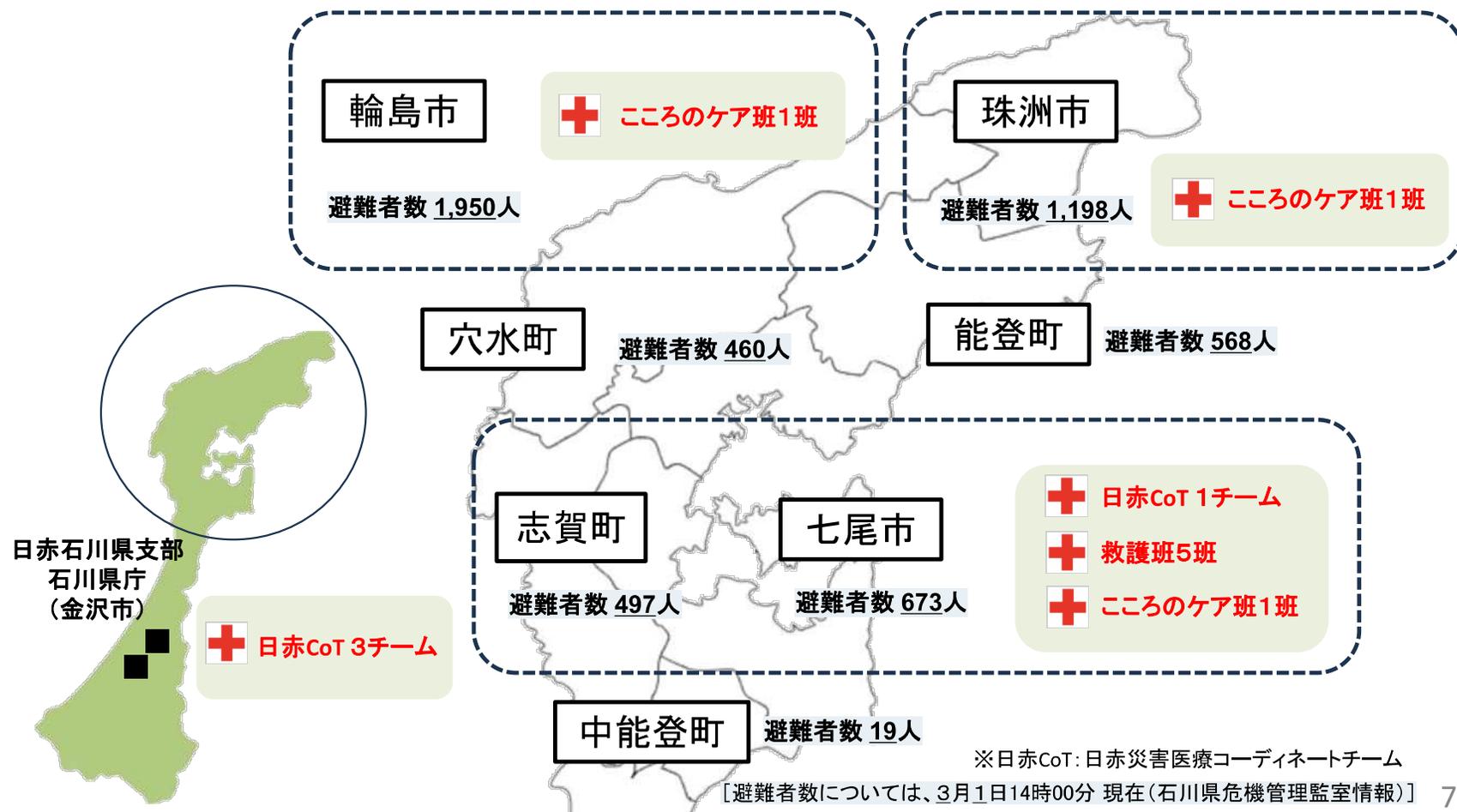
救護班1個班の編成は、医師1人、
看護師長1人、看護師2人、管理要員
2人の計6人であり、全国の救護班が、
緊急の災害に対応できるよう備えて
います。

※**広島HP:6班・三原HP:2班・庄原HP:2班**
計10班を編成



2 日本赤十字社の主な活動状況

(3) 救護班等の活動状況 [3月12日10時00分 現在活動中]



2 日本赤十字社の主な活動状況



「石川県支部でブリーフィングを受ける救護班
(石川県金沢市)」



「活動方針についてミーティングをする救護班
(石川県輪島市)」



「避難所でのアセスメントを行う救護班
(石川県輪島市)」



「救護所で被災者の手当を行う救護班
(石川県珠洲市)」

2 日本赤十字社の主な活動状況



「避難所を巡回するところのケア班
(石川県志賀町)」



「被災者の声に耳を傾けるところのケア班
(石川県志賀町)」



「行政職員に対してケアを行うところのケア班(石川県七尾市)」



2 日本赤十字社の主な活動状況

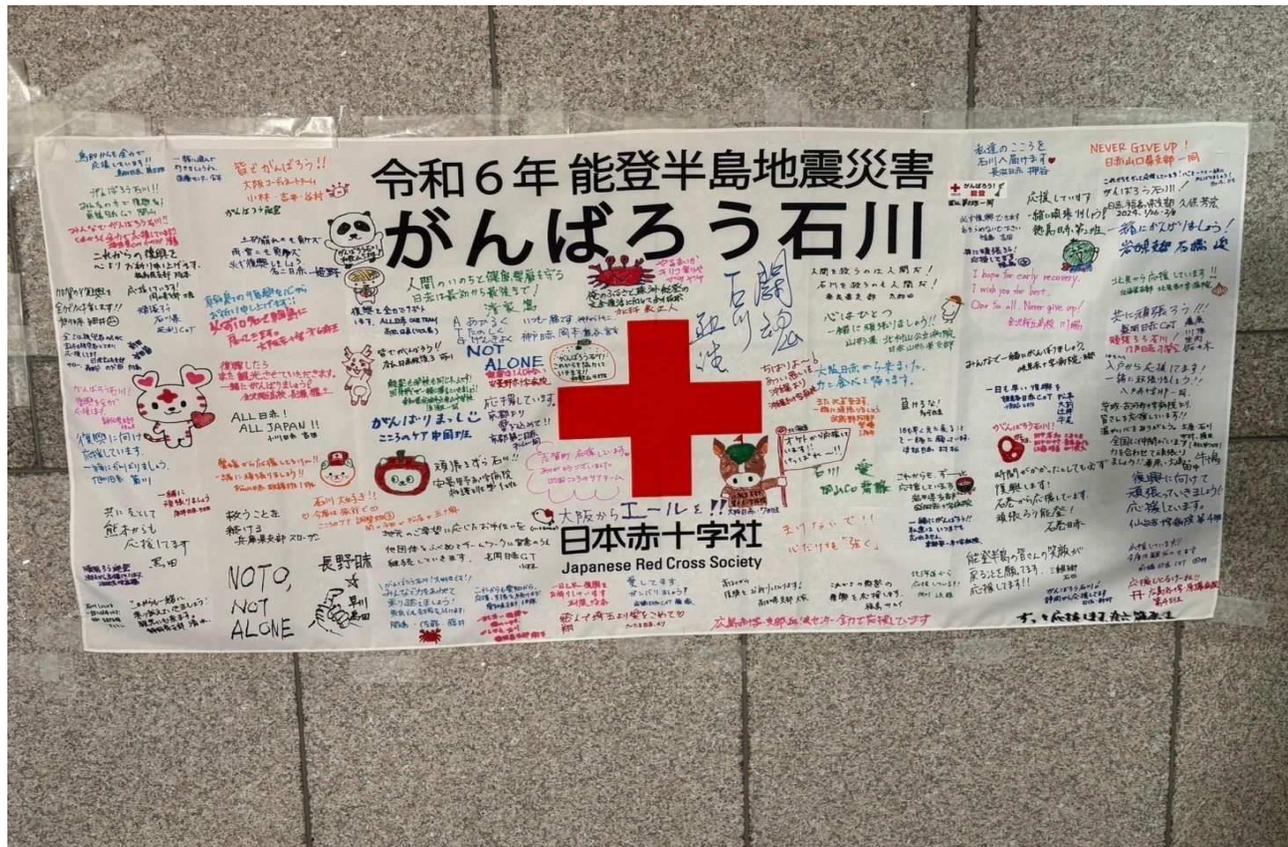
(7) 義援金の受付

皆様方からお寄せいただきました義援金は、全額、被災都道府県が設置する義援金配分委員会(令和6年1月16日現在で同委員会を設置した都道府県:石川県、富山県、新潟県、福井県)を通じ、被災地の方々の生活支援に役立てられます。

ア 義援金名 令和6年能登半島地震災害義援金

イ 受付期間 令和6年1月4日(木)～令和6年12月27日(金)

赤十字の活動は皆様のご支援に支えられています



今後とも赤十字へのご理解、ご協力をお願いいたします。